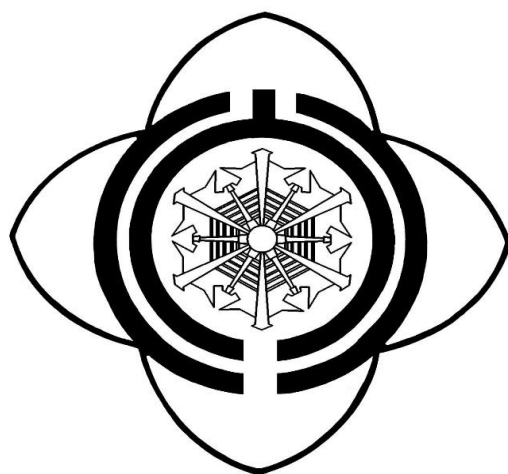
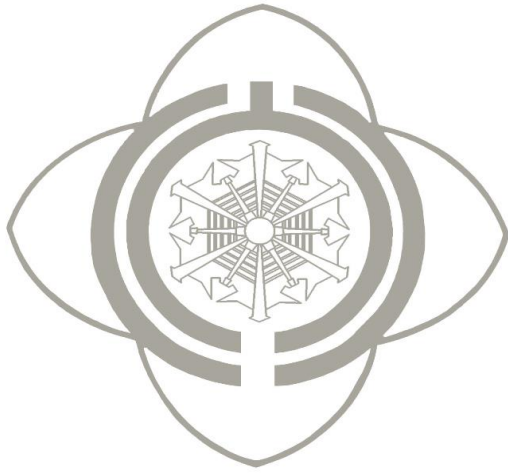


火災救急救助年報

令和2年版



防府市消防本部



も く じ

警防の部

はじめに	1
------	---

火災の部

火災の概況	2
第1表 火災発生状況（前年との比較）	3
第2表 火災種別月別出火件数	4
第3表 火災種別原因別出火件数	4
第4表 月別り災世帯数及びり災人員	4
第5表 時間帯別原因別出火件数	5
第6表 過去5か年の火災発生状況	6
第7表 地区別火災発生状況	7

救急の部

救急の概況	8
第8表 過去10年間の救急出動状況	9
第9表 事故種別・月別救急出動件数及び搬送人員	10
第10表 事故種別曜日別出動件数	11
第11表 事故種別時間帯別搬送人員	11
第12表 平日・休日別事故種別搬送人員	12
第13表 年齢区分別事故種別搬送人員	12
第13表-1 年齢区分別事故種別搬送人員（詳細）	13
第14表 事故種別傷病程度別搬送人員	14
第15表 発生場所別搬送人員	14
第16表 現場到着所要時間別出動件数	15
第17表 収容所要時間別搬送人員	15
第18表 救急隊員の行った応急処置数	16
第19表 収容医療機関別搬送人員	17
第20表 救急医療体制施設別搬送人員	17
第21表 署所別出動件数及び搬送人員	18

救助の部

救助の概況	19
第22表 事故種別救助活動の状況	20
第23表 発生場所別救助活動の状況	20
第24表 事故種別出動車両の状況	21
第25表 事故種別出動件数・救助人員の状況	21
第26表 過去5年間の救助出動状況	22

警 防 の 部

は じ め に

この年報は、令和2年1月から令和2年12月における防府市消防本部管轄内の火災・救急・救助活動等の消防業務について、その状況をまとめたものです。

※ 防府市消防本部管轄内の市勢
(令和2年12月末日現在)

防府市（令和2年度消防費1,721,060千円）

人	口	115,390 人	
面	積	189.37 km ²	
世	帯	数	56,294 世帯

- ・人口及び世帯数については防府市の地区別人口統計による
- ・面積は、国土地理院が公表している数値を掲載

火災の部

◎ 火災の概況

1 管内の火災件数は前年を上回る

令和2年の火災発生件数は40件で、前年の火災発生件数(35件)と比較して5件の増加となっている。その内訳は、令和元年の建物火災18件、林野火災1件、車両火災3件、その他火災13件に対して、令和2年は建物火災13件(5件減)、林野火災7件(6件増)、車両火災3件(増減無)、その他火災17件(4件増)となっている。

2 損害額は増加

令和2年の火災による損害額は95,322千円で、前年の34,012千円と比較して61,310千円の増となっている。なお、建物火災の損害額は91,422千円で、損害額全体の95.9%を占めている。

3 出火原因の内訳

令和2年の主な出火原因は、「たき火」が12件、「放火及び放火の疑い」が4件、「たばこ」、「電灯・電話等の配線」が3件で並んでいる。

4 火災による死傷者

火災による死傷者は、死者2人、負傷者4人となっている。

第1表 火災発生状況（前年との比較）

区 分	年 別	単 位	令和元年	令和2年	増・減
火 災 件 数	合 計	件	35	40	5
	建 物	件	18	13	▲ 5
	林 野	件	1	7	6
	車 両	件	3	3	
	船 舶	件			
	その他	件	13	17	4
	損害額	千円	34,012	95,322	61,310
焼 損 棟 数	合 計	棟	19	34	15
	全 焼	棟		17	17
	半 焼	棟		1	1
	部分焼	棟	7	8	1
	ぼ や	棟	12	8	▲ 4
建 物 被 害	床面積	m ²	59	2,157	2,098
	表面積	m ²	67	74	7
	損害額	千円	21,406	91,422	70,016
り 災	世帯	世帯	10	19	9
	人員	人	25	42	17
人 的 被 害	死者	人	1	2	1
	負傷者	人	3	4	1
林野被害		a	3	64	61

第2表 火災種別月別出火件数

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	40	3	7	4	3	2	2		4	5	4	4	2
建物	13	2	3	2		1	1			2	1		1
林野	7		1		2	1					2	1	
車両	3	1	1				1						
船舶													
その他	17		2	2	1				4	3	1	3	1

第3表 火災種別原因別出火件数

原因別 種別	合計	たばこ	こんろ	焼却炉	ストーブ	煙突・煙道	排気管	電気機器	電気装置	内燃機関	配線器具	ラマツ イタチ ・火	たき火	灯火	取灰	放火	その他	調査 不明
合計	40	3	1	2			1	2			1		12		1	2	12	3
建物	13	1	1					1			1				1		5	3
林野	7	1											4				2	
車両	3							1								1	1	
船舶																		
その他	17	1		2			1						8			1	4	

第4表 月別り災世帯数及びり災人員

月別 種別	合計	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月
合計	世帯数	19	5	2			2	1			2	3	4
	人員	42	7	14			5	2			2	6	6
全損	世帯数	10	3				1	1			1	1	3
半損	世帯数	1									1		
小損	世帯数	8	2	2			1				2		1

全損： 建物（収容物を含む。以下半損、小損において同じ）の火災損害額がり災前の評価額の70%以上のものをいう。

半損： 建物の火災損害額が、り災前の建物評価額の20%以上で全損に該当しないものをいう。

小損： 建物の火災損害額が、り災前の建物評価額の20%未満をいう。

第5表 時間帯別原因別出火件数

原因	時間帯 合計	0	2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	時間不明
		2	4	6	8	10	12	14	16	18	20	22	24	
合計	40			2	3	1	4	9	7	5	2	2	2	3
たばこ	3			1	1							1		
こんろ	1										1			
かまど														
風呂かまど														
炉														
焼却炉	2							1		1				
ストーブ														
こたつ														
ボイラー														
煙突・煙道														
排気管	1							1						
電気機器	2								1	1				
電気装置														
電灯・電話等の配線	3							1				1	1	
内燃機関														
配線器具	1													1
火あそび														
マッチ・ライター														
たき火	12				1		1	2	6	2				
溶接機・切断機	1							1						
灯火														
衝突の火花														
取灰	1							1						
火入れ														
放火	2			1			1							
放火の疑い	2									1				1
その他	6					1	1	2					1	1
不明・調査中	3				1		1				1			

第6表 過去5か年の火災発生状況

区 分		年 別				
		平成28年	平成29年	平成30年	令和元年	令和2年
火 災 件 数	合 計	41	39	39	35	40
	建 物	24	22	20	18	13
	林 野	1	1		1	7
	車 両	3	3	2	3	3
	船 舶					
	そ の 他	13	13	17	13	17
損 害 額 (千円)	合 計	60,230	51,325	45,618	34,012	95,322
	建 物	56,678	29,035	45,408	21,406	91,422
	林 野	0	0		0	1
	車 両	3,480	22,210	92	12,470	823
	船 舶					
	そ の 他	72	80	118	136	3,076
建物焼損床面積 (m ²)		925	544	817	59	2,157
建物焼損表面積 (m ²)		29	57	166	67	74
林野焼損面積 (a)		4	0		3	64
り 災 世 帯 数		22	15	20	10	19
り 災 人 員		46	34	50	25	42
死 者		3	1	2	1	2
負 傷 者		1	2	7	3	4

第7表 地区別火災発生状況

火災種別 地区別	合計	建 物	林 野	車 両	船 舶	その他	損害額 (千円)
合 計	40	13	7	3		17	95,322
宮 市	4	1	1			2	7,755
三 田 尻	1	1					49,384
華 陽	7	5				2	3,505
華 城	2	1				1	2
牟 礼	6	3	1			2	33,312
向 島	1		1				0
野 島	0						
西 浦	1		1				0
大 道	6		1			5	18
右 田	3	1	1	1			721
玉 祖	4		1	2		1	623
富 海	2					2	0
小 野	3	1				2	2

救 急 の 部

◎ 救急の概況

1 出動件数及び搬送人員

総出動件数は4,253件、搬送人員は3,878人で、昨年比べて出動件数が301件の減、搬送人員は299人の減となった。また、1日の平均出動件数は12件、1日の平均搬送人員は11人で、1日の最多出動件数は25件、1日の最少出動件数は3件であった。

2 事故種別搬送人員では急病が1位

事故種別搬送人員は、例年と同様に急病が2,320人でトップとなり、全搬送人員3,878人に占める割合は59.8%と昨年の61.6%より1.8ポイント減となった。次いで一般負傷645人(16.6%)、交通事故278人(7.2%)の順となっている。

3 全搬送人員の7割が60歳以上

搬送人員を年齢別で見ると、60歳代422人(10.9%)、70歳代870人(22.4%)、80歳以上が1,443人(37.2%)で、60歳以上でみると全体の半数を超える70.5%を占めている。

4 救急救命士の特定行為実施状況

令和2年中に、救急救命士が医師の指示に基づく救命処置等を実施した傷病者は98人で、全搬送人員に占める割合は、2.5%であった。

救命処置等の内訳は、器具を使用した気道確保70件(うち気管挿管50件)、静脈路確保65件、除細動12件、薬剤投与56件であった。

令和2年の時点で、救急現場で気管挿管を行える救急救命士が29人、薬剤投与を行える救急救命士が32人となっている。また、拡大2行為を行える救急救命士も32人になり、令和2年中にショック輸液が4件、ブドウ糖投与が4件処置された。

* 拡大2行為とは、

- ・心肺停止前の重度傷病者に対する静脈路確保及び輸液(ショック輸液)
- ・血糖測定並びに低血糖発作症例へのブドウ糖溶液の投与(ブドウ糖投与)

第8表 過去10年間の救急出動状況

年別 事故種別	平成 23 年	平成 24 年	平成 25 年	平成 26 年	平成 27 年	平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2 年
合 計	4,056	4,008	4,305	4,217	4,252	4,494	4,469	4,682	4,554	4,253
火 災	3	4	8	2	5	1	3	8	5	4
自然災害			1							1
水 難	2	5	3	3	1	5	2		1	1
交通事故	414	385	448	419	380	420	397	372	340	298
労働災害	40	37	23	28	31	29	36	40	43	46
運動競技	63	42	66	51	48	42	61	52	73	68
一般負傷	622	567	645	695	631	668	716	727	700	692
加 害	26	22	27	19	25	17	20	14	25	10
自損行為	54	68	63	39	44	33	34	37	41	36
急 病	2,396	2,437	2,526	2,482	2,578	2,741	2,680	2,908	2,832	2,572
そ の 他	436	441	495	479	509	538	520	524	494	525

平成23年3月31日まで、山口市徳地区域の消防事務を受託

第9表 事故種別・月別救急出動件数及び搬送人員

事故種別		合	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ
月別		計	災	然	難	通	働	動	般	害	損	病	の
合計	件数	4,253	4	1	1	298	46	68	692	10	36	2,572	525
	人員	3,878	4	1	0	278	45	76	645	6	24	2,320	479
1月	件数	415				32	3	9	71	1	3	248	48
	人員	377				33	3	10	64		1	221	45
2月	件数	345			1	24	5	1	65			197	52
	人員	304			0	19	5	1	63			174	42
3月	件数	365	1			15	3	1	56		4	237	48
	人員	320	1			12	3	1	48		3	204	48
4月	件数	296	1			16	1	1	41	2	3	196	35
	人員	284	1			18	1	1	42	2	3	183	33
5月	件数	310				18	3	1	53		5	193	37
	人員	291				16	3	1	52		3	179	37
6月	件数	303				21	7	4	49	2	1	178	41
	人員	264				19	6	5	43	2	1	156	32
7月	件数	354				28	3	5	63	1	2	218	34
	人員	324				28	3	5	58		1	198	31
8月	件数	362				24	10	8	49	1	2	233	35
	人員	327				22	10	7	46	1	1	209	31
9月	件数	370		1		28	3	5	59	1	3	205	65
	人員	338		1		25	3	6	57		2	187	57
10月	件数	398	1			38	1	17	63	1	5	225	47
	人員	370	1			36	1	19	60	1	4	207	41
11月	件数	357	1			22	5	14	58	1	5	214	37
	人員	334	1			18	5	18	52		4	200	36
12月	件数	378				32	2	2	65		3	228	46
	人員	345				32	2	2	60		1	202	46

第10表 事故種別曜日別出動件数

曜日 区分	合計	月	火	水	木	金	土	日
合計	4,253	653	602	605	585	645	600	563
火災	4	1	1		1	1		
自然災害	1							1
水難事故	1				1			
交通事故	298	37	46	45	30	52	52	36
労働災害	46	9	8	7	7	8	3	4
運動競技	68		12	5	12	13	12	14
一般負傷	692	94	103	111	90	100	103	91
加害	10	3	2	1	1	1		2
自損事故	36	10	7		5	3	5	6
急病	2,572	400	344	359	378	368	357	366
その他	525	99	79	77	60	99	68	43

第11表 事故種別時間帯別搬送人員

事故種別 時間帯	合計	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
合計	3,878	4	1		278	45	76	645	6	24	2,320	479
0～2	171				3	2		23	1		135	7
2～4	109				1			16	1	1	86	4
4～6	108				4			10		2	90	2
6～8	254				24	2		44		3	174	7
8～10	524				39	5	8	101			313	58
10～12	526				34	8	21	97	1	3	259	103
12～14	494	1			30	8	11	86		2	255	101
14～16	421	2			47	13	23	65	1	5	202	63
16～18	413				45	6	10	63	1	1	219	68
18～20	365	1			30		2	65	1	1	236	29
20～22	294		1		15	1	1	48		3	205	20
22～24	199				6			27		3	146	17

第12表 平日・休日別事故種別搬送人員

事故種別 区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	3,878	4	1		278	45	76	645	6	24	2,320	479
平 日	3,367	4			241	41	61	559	5	20	1,993	443
休 日	511		1		37	4	15	86	1	4	327	36

第13表 年齢区分別事故種別搬送人員

事故種別 年齢区分	合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
合 計	3,878	4	1		278	45	76	645	6	24	2,320	479
新 生 児	9										1	8
乳 幼 児	99				7			27			59	6
少 年	139				29	1	29	13	1	2	58	6
成 人	1,037	1	1		116	36	46	94	4	14	595	130
高 齢 者	2,594	3			126	8	1	511	1	8	1,607	329

凡 例

- 新生児 : 生後28日未満の者
- 乳幼児 : 生後28日以上満7歳未満の者
- 少年 : 満7歳以上満18歳未満の者
- 成人 : 満18歳以上満65歳未満の者
- 高齢者 : 満65歳以上の者

第13表-1 年齢区分別事故種別搬送人員（詳細）

事故種別		計合	火災	自然災害	水難事故	交通事故	労働災害	運動競技	一般負傷	加害	自損行為	急病	その他
年齢区分													
合計	計	3,878	4	1		278	45	76	645	6	24	2,320	479
	男	2,008	3			154	34	66	282	5	11	1,201	252
	女	1,870	1	1		124	11	10	363	1	13	1,119	227
0～9	計	127				10			33		1	66	17
	男	73				5			21		1	35	11
	女	54				5			12			31	6
10～19	計	159				36	2	31	8	1	2	74	5
	男	104				24	1	24	5	1		46	3
	女	55				12	1	7	3		2	28	2
20～29	計	163	1			28	6	9	15	2	3	88	11
	男	90	1			18	4	8	9	2	1	43	4
	女	73				10	2	1	6		2	45	7
30～39	計	147				14	8	12	13	1	3	81	15
	男	87				9	7	12	9	1		45	4
	女	60				5	1		4		3	36	11
40～49	計	249		1		29	7	21	14		4	147	26
	男	147				19	6	20	8		3	76	15
	女	102		1		10	1	1	6		1	71	11
50～59	計	298				29	13	1	29		1	179	46
	男	172				19	9	1	15		1	96	31
	女	126				10	4		14			83	15
60～69	計	422				35	3	2	67	2	2	252	59
	男	248				20	3	1	38	1	1	152	32
	女	174				15		1	29	1	1	100	27
70～79	計	870	1			66	6		128		4	549	116
	男	493	1			26	4		72		2	314	74
	女	377				40	2		56		2	235	42
80歳以上	計	1,443	2			31			338		4	884	184
	男	594	1			14			105		2	394	78
	女	849	1			17			233		2	490	106

第14表 事故種別傷病程度別搬送人員

種別 区分	傷 病 程 度 区 分					
	合 計	死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
合 計	3,878	106	131	2,142	1,499	
火 災	4			3	1	
自 然 災 害	1				1	
水 難 事 故						
交 通 事 故	278	5	4	87	182	
労 働 災 害	45		2	20	23	
運 動 競 技	76			38	38	
一 般 負 傷	645	4	8	371	262	
加 害	6			2	4	
自 損 行 為	24	6	2	8	8	
急 病	2,320	86	86	1,208	940	
そ の 他	479	5	29	405	40	

凡 例

- 死 亡 : 初診時において、死亡が確認されたもの
- 重 症 : 傷病の程度が3週間以上の入院加療を必要とするもの
- 中 等 症 : 傷病の程度が入院を必要とするもので重症に至らないもの
- 軽 症 : 傷病の程度が入院を必要としないもの
- そ の 他 : 医師の診断がないもの及び「その他の場所」へ搬送したもの

第15表 発生場所別搬送人員

発生場所 区分	合 計	発生場所				
		住 宅	公 衆 出 入 場 所	仕 事 場	道 路	そ の 他
合 計	3,878	2,187	1,102	106	414	69
急 病	2,320	1,772	390	58	83	17
交 通 事 故	278	2	19	1	241	15
一 般 負 傷	645	382	138	5	88	32
そ の 他	635	31	555	42	2	5

第16表 現場到着所要時間別出動件数

区分 事故種別	合計	3分未満	3分以上 5分未満	5分以上 10分未満	10分以上 20分未満	20分以上	平均 所要 時間 (分)
合計	4,253	12	222	3,146	858	15	7.6
急病	2,572	4	100	1,887	571	10	8.0
交通事故	298	1	21	215	61		7.8
一般負傷	692		35	514	139	4	7.9
その他	691	7	66	530	87	1	6.8

第17表 収容所要時間別搬送人員

区分 事故種別	合計	10分 未満	10分 以上 20分 未満	20分 以上 30分 未満	30分 以上 60分 未満	60分 以上 120分 未満	120分 以上	平均 所要 時間 (分)
合計	3,878		99	1,406	2,246	122	5	33.6
急病	2,320		28	724	1,494	69	5	35.2
交通事故	278		8	93	173	4		34.2
一般負傷	645		7	193	427	18		35.8
その他	635		56	396	152	31		29.0

※覚知から病院収容までの所要時間

第18表 救急隊員の行った応急処置数

処置		事故種別		急病	交通事故	一般負傷	その他
		合計					
処置件数合計		15,491		9,593	1,081	2,345	2,472
止血		46		12	3	29	2
固定		194		7	96	59	32
人工呼吸		45		36		4	5
心臓マッサージ							
うち自動							
心肺蘇生		96		79	2	5	10
うち自動		17		13	1		3
酸素吸入		724		476	16	36	196
気道確保		125		102	2	5	16
保温		27		16	1	6	4
被覆		253		13	57	162	21
その他		3,787		2,278	270	630	609
拡大	在宅療法	点滴	6	4			2
		外傷	3	3			
		その他	31	27		2	2
大	喉頭鏡・鉗子		22	18		3	1
	経鼻エアウェイ		1	1			
	ショックパンツ						
応	血圧測定		3,683	2,189	269	619	606
	聴診器		986	764	56	59	107
	血中酸素飽和度		3,770	2,239	275	637	619
急	心電図		1,468	1,143	28	82	215
	処置	除細動	12	10			2
		静脈路確保	65	54	1	2	8
薬剤投与		56	45	2	2	7	
ブドウ糖投与		4	4				
ラリングアル等		20	15	2		3	
気管挿管		50	45		3	2	

第19表 収容医療機関別搬送人員

告示別	事故種別 開設主体別		合 計	急 病	交通 事故	一 般 負 傷	そ の 他
	合 計						
	合 計		3,878	2,320	278	645	635
救急告示医療機関	国 立		40	8		2	30
	公 立		1,564	978	44	114	428
	公 的		12	3			9
	私 的	病 院	2,164	1,268	225	509	162
		診 療 所	0				
	小 計		3,780	2,257	269	625	629
その他医療機関	国 立		0				
	公 立		0				
	公 的		0				
	私 的	病 院	10	5		1	4
		診 療 所	84	55	9	19	1
	小 計		94	60	9	20	5
その他の場所			4	3			1

※ その他の場所 : 整骨院等や医療機関へ収容する目的でヘリポート等へ中継搬送した場合をいう。(ドクターヘリを使用した場合を除く。)

第20表 救急医療体制施設別搬送人員

区 分	傷病程度		死 亡	重 症	中 等 症	軽 症	そ の 他
	合 計						
合 計		3,780	106	130	2,118	1,426	
二次救急医療施設		2,196	8	4	1,222	962	
三次救急医療施設		1,584	98	126	896	464	

第21表 署所別出動件数及び搬送人員

事故種別		合 計	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 働 災 害	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害	自 損 行 為	急 病	そ の 他
署所別													
合 計	件数	4,253	4	1	1	298	46	68	692	10	36	2,572	525
	人員	3,878	4	1		278	45	76	645	6	24	2,320	479
本 署	件数	2,591	3			167	20	52	410	8	21	1,500	410
	人員	2,342	3			160	20	60	381	4	13	1,319	382
南出張所	件数	824	1	1	1	67	14	11	123	2	7	525	72
	人員	768	1	1		58	13	11	119	2	6	490	67
東出張所	件数	838				64	12	5	159		8	547	43
	人員	768				60	12	5	145		5	511	30

救 助 の 部

◎ 救助の概要

1 救助出動件数

令和2年の救助出動件数は57件で、昨年と比べて19件の増となった。

2 救助活動件数と救助人員

出動件数57件の内、実際に救助活動を実施した件数は49件で、救助人員は52人であった。

3 交通事故に伴う救助出動が第1位

救助出動件数57件のうち、交通事故による出動が24件で、全件数の約42%を占めている。

第24表 事故種別出動車両の状況

区分	事故種別	合	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ
		計	災	通	難	水	械	物	ス	裂	の
合	計	255	15	110	15		5	21	10		79
救助工作車		49	2	19	2		1	7	2		16
消防ポンプ自動車		79	6	34	5		2	1	4		27
はしご自動車		0									
化学消防車		19	1	11	2			3			2
指揮車		40	2	18	2		1	2	2		13
救急自動車		60	2	28	2		1	8	2		17
その他		7	1		2						4
ヘリコプター											
消防団車両		1	1								

第25表 事故種別出動件数・救助人員の状況

年別	事故種別	合	火	交	水	風	機	建	ガ	破	そ
	区分	計	災	通	難	水	械	物	ス	裂	の
		計	災	故	故	害	による	による	酸	事	他
						災	事故	事故	欠	故	
R2	出動件数	57	2	24	2		1	9	2		17
	救助人員	52	3	22	2		1	8	2		14
R元	出動件数	38	2	16	1		2	6			11
	救助人員	24	1	12	1		1	3			6
増・減	出動件数	19	0	8	1		▲ 1	3	2		6
	救助人員	28	2	10	1		0	5	2		8

第26表 過去5年間の救助出動状況

事故種別		年 別				
		平成 28 年	平成 29 年	平成 30 年	令和 元年	令和 2年
合計	出動件数	34	37	49	38	57
	活動件数	24	14	27	26	49
	救助人員	22	13	32	24	52
火災	出動件数	2	2	3	2	2
	活動件数	2	2	3	2	2
	救助人員			3	1	3
交通事故	出動件数	19	25	25	16	24
	活動件数	10	6	13	12	20
	救助人員	9	7	18	12	22
水難事故	出動件数	4	3		1	2
	活動件数	3	2		1	2
	救助人員	3	2		1	2
自然災害事故	出動件数			1		
	活動件数					
	救助人員					
機械による事故	出動件数	1		2	2	1
	活動件数	1		1	1	1
	救助人員	1		1	1	1
建物等による事故	出動件数	3		1	6	9
	活動件数	3			4	9
	救助人員	3			3	8
ガス及び酸欠事故	出動件数					2
	活動件数					2
	救助人員					2
その他	出動件数	5	7	17	11	17
	活動件数	5	4	10	6	13
	救助人員	6	4	10	6	14